



## 2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年7月28日

上場会社名 富士変速機株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 6295 URL <http://www.fujihensokuki.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山本 浩司  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)蓮井 隆之 (TEL)058(271)6521  
 四半期報告書提出予定日 2020年7月28日 配当支払開始予定日 2020年9月11日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第2四半期の業績 (2020年1月1日～2020年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	3,270	△10.6	180	△20.9	187	△22.9	51	△68.3
2019年12月期第2四半期	3,658	20.8	228	96.8	243	80.1	162	78.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	3.05	—
2019年12月期第2四半期	9.63	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	11,445	9,989	87.3
2019年12月期	11,740	9,958	84.8

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 9,989百万円 2019年12月期 9,958百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	3.00	—	3.00	6.00
2020年12月期	—	3.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年12月期の業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,210	△4.3	550	4.2	570	3.7	385	4.7	22.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期2Q	17,955,000株	2019年12月期	17,955,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期2Q	1,039,944株	2019年12月期	1,039,844株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期2Q	16,915,101株	2019年12月期2Q	16,915,333株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により国内外の経済動向が停滞し、企業収益の減少や個人消費が急激に落ち込むなど、極めて厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社におきましては、営業活動の自粛や、工期の繰延べなど厳しい事業環境のなか、マーケティングに基づく当社の強みや技術を活かした製品開発と生産体制の最適化を行い、いかなる事業環境の変化にも対応すべく原価低減活動と生産性の向上に努めてまいりました。

減速機関連事業では、当社の保有技術を活かした個別製品等において、提案営業強化を図り新規顧客展開に注力するとともに、生産体制の改善等による収益獲得に努めてまいりました。

駐車場装置関連事業では、新規開拓に取り組むとともに、既設物件に対する計画的な改修提案や付加価値提案を推進し、製造・施工コストの管理体制強化を進めることにより、受注・収益の獲得に努めてまいりました。

室内外装品関連事業では、生産・品質管理体制の強化を図り、収益改善に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は3,270百万円(前年同期比10.6%減)、営業利益は180百万円(前年同期比20.9%減)、経常利益は187百万円(前年同期比22.9%減)となりました。四半期純利益は、保有する投資有価証券が新型コロナウイルスによる記録的な下落の影響を受け、評価損を計上したことから51百万円(前年同期比68.3%減)となりました。なお、四半期会計期間における投資有価証券の評価は、洗替法を採用しております。

なお、セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### [減速機関連事業]

無人搬送台車駆動用減速機など、当社得意の個別減速機が比較的堅調に推移いたしました。全体では工作機械市況の低迷に加え、新型コロナウイルス感染症による営業活動自粛などにより、売上高は1,693百万円(前年同期比9.0%減)となりました。営業利益につきましては、継続的な原価低減活動等に取り組みましたが、売上高の減少等により108百万円(前年同期比15.4%減)となりました。

#### [駐車場装置関連事業]

昨年度の大規模物件の反動に加え、工期の繰延べにより新築・改修工事が減少したことで、売上高は1,455百万円(前年同期比13.6%減)となりました。営業利益につきましては、製造・施工コストの管理体制強化など継続的な原価低減活動に努めましたが、売上高の減少等により、82百万円(前年同期比27.7%減)となりました。

#### [室内外装品関連事業]

品質管理の徹底と性能の向上に努め受注獲得に努め、売上高は120百万円(前年同期比7.3%増)となりました。営業損益につきましては、継続的なコスト低減活動に取り組みましたが10百万円の損失(前年同期は14百万円の損失)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### [資産]

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ295百万円減少し11,445百万円となりました。

流動資産は、仕掛品が63百万円、原材料及び貯蔵品が29百万円、現金及び預金が21百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が313百万円、未成工事支出金が89百万円減少したことにより、前事業年度末に比べ313百万円減少し7,699百万円となりました。

固定資産は、保有株式の株価下落等により投資有価証券が76百万円減少した一方で、有形固定資産が取得等により110百万円増加したことで、前事業年度末に比べ17百万円増加し3,745百万円となりました。

## [負債]

当第2四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ325百万円減少し1,456百万円となりました。

流動負債は、未払法人税等が144百万円、支払手形及び買掛金が103百万円、未払消費税等を含むその他の項目が82百万円減少したことにより、前事業年度末に比べ345百万円減少し1,107百万円となりました。

固定負債は、役員退職慰労引当金が14百万円減少した一方で、退職給付引当金が18百万円、長期リース債務を含むその他の項目が15百万円増加したことにより、前事業年度末に比べ19百万円増加し349百万円となりました。

## [純資産]

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ30百万円増加し9,989百万円となりました。

これは主にその他有価証券評価差額金が29百万円増加したことによるものであります。

なお、自己資本比率は前事業年度末に比べ2.5ポイント増加し87.3%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

現金及び現金同等物(以下「資金」という)の第2四半期会計期間末残高は、3,735百万円(前事業年度末3,713百万円)となりました。

これは、営業活動、投資活動、財務活動によるキャッシュ・フローの合計が21百万円増加したことによるものであります。

なお、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## [営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動による資金は、241百万円の増加(前年同期は167百万円の増加)となりました。

これは主に、仕入債務の減少額104百万円、法人税等の支払額144百万円による減少があった一方で、売上債権の減少額350百万円、投資有価証券評価損119百万円、減価償却費107百万円による増加があったことによるものであります。

## [投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動による資金は、163百万円の減少(前年同期は202百万円の減少)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出156百万円があったことによるものであります。

## [財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動による資金は、55百万円の減少(前年同期は54百万円の減少)となりました。

これは主に、株主配当金の支払があったことによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う企業収益や内外経済の下振れなど、経営環境は予断を許さない状況が続くものと思われませんが、2020年12月期の業績予想につきましては、現時点では2020年2月5日に公表しました予想から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,713,532	3,735,252
受取手形及び売掛金	2,976,407	2,662,618
製品	39,092	39,050
仕掛品	532,227	595,916
未成工事支出金	233,507	143,544
原材料及び貯蔵品	418,287	448,192
その他	108,978	83,341
貸倒引当金	△8,958	△8,017
流動資産合計	8,013,074	7,699,898
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,527,531	2,544,192
減価償却累計額	△1,860,661	△1,886,842
建物(純額)	666,869	657,350
機械及び装置	2,311,140	2,435,592
減価償却累計額	△1,845,635	△1,860,953
機械及び装置(純額)	465,504	574,639
土地	1,604,963	1,604,963
建設仮勘定	9,852	-
その他	1,008,029	1,042,463
減価償却累計額	△878,885	△892,524
その他(純額)	129,143	149,938
有形固定資産合計	2,876,334	2,986,891
無形固定資産	67,672	61,637
投資その他の資産		
投資有価証券	355,293	278,467
その他	428,436	418,674
投資その他の資産合計	783,730	697,141
固定資産合計	3,727,737	3,745,671
資産合計	11,740,811	11,445,569

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	905,211	801,846
未払法人税等	170,845	26,808
引当金	62,887	47,728
その他	313,270	230,775
流動負債合計	1,452,214	1,107,159
固定負債		
退職給付引当金	278,639	297,426
役員退職慰労引当金	29,100	14,190
その他	21,919	37,440
固定負債合計	329,658	349,057
負債合計	1,781,873	1,456,216
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,507,500	2,507,500
資本剰余金	3,896,954	3,896,954
利益剰余金	3,814,617	3,815,456
自己株式	△197,992	△198,023
株主資本合計	10,021,079	10,021,887
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△62,141	△32,534
評価・換算差額等合計	△62,141	△32,534
純資産合計	9,958,938	9,989,353
負債純資産合計	11,740,811	11,445,569

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
売上高	3,658,030	3,270,195
売上原価	2,967,214	2,662,512
売上総利益	690,815	607,683
販売費及び一般管理費	462,760	427,301
営業利益	228,055	180,381
営業外収益		
受取利息	215	176
受取配当金	5,274	5,603
保険配当金	6,503	-
受取ロイヤリティー	2,460	2,700
その他	4,612	2,106
営業外収益合計	19,066	10,586
営業外費用		
売上割引	3,067	2,850
その他	381	257
営業外費用合計	3,448	3,107
経常利益	243,673	187,860
特別利益		
固定資産売却益	-	999
特別利益合計	-	999
特別損失		
投資有価証券評価損	-	119,073
固定資産除却損	15	108
特別損失合計	15	119,182
税引前四半期純利益	243,657	69,678
法人税、住民税及び事業税	84,939	5,683
法人税等調整額	△4,110	12,410
法人税等合計	80,828	18,094
四半期純利益	162,828	51,584



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	243,657	69,678
減価償却費	95,547	107,171
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,105	△941
引当金の増減額 (△は減少)	△3,536	△15,158
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	21,083	18,787
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△17,719	△17,762
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,440	△14,910
受取利息及び受取配当金	△5,489	△5,779
固定資産売却損益 (△は益)	-	△999
固定資産除却損	15	108
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	119,073
売上債権の増減額 (△は増加)	△220,597	350,689
たな卸資産の増減額 (△は増加)	11,040	△3,588
仕入債務の増減額 (△は減少)	△83,143	△104,215
前払費用の増減額 (△は増加)	112,861	20,800
その他	77,412	△143,090
小計	235,677	379,861
利息及び配当金の受取額	5,503	5,790
法人税等の支払額	△73,660	△144,512
営業活動によるキャッシュ・フロー	167,520	241,139
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△201,774	△156,853
有形固定資産の売却による収入	-	1,000
無形固定資産の取得による支出	△3,362	△10,092
その他	2,564	2,396
投資活動によるキャッシュ・フロー	△202,571	△163,549
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△50,755	△50,612
その他	△3,332	△5,257
財務活動によるキャッシュ・フロー	△54,087	△55,870
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△89,139	21,719
現金及び現金同等物の期首残高	4,029,565	3,713,532
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,940,425	3,735,252

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	減速機 関連事業	駐車場装置 関連事業	室内外装品 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,861,121	1,684,297	112,611	3,658,030	—	3,658,030
セグメント間の内部売上高 又は振替高	62,460	—	—	62,460	△62,460	—
計	1,923,582	1,684,297	112,611	3,720,491	△62,460	3,658,030
セグメント利益又は損失(△)	128,415	114,052	△14,411	228,055	—	228,055

(注)1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	減速機 関連事業	駐車場装置 関連事業	室内外装品 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,693,796	1,455,573	120,825	3,270,195	—	3,270,195
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21,352	—	—	21,352	△21,352	—
計	1,715,148	1,455,573	120,825	3,291,547	△21,352	3,270,195
セグメント利益又は損失(△)	108,615	82,436	△10,669	180,381	—	180,381

(注)1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。